



- 1 訪れた人たちは獅子に頭をかまれ無病息災を祈願。獅子におびえて泣く子どもの姿はおくち祭ならではの
- 2 球磨神楽の演目「三笠」では、紙吹雪が舞い幻想的な雰囲気
- 3 女性のみこしも元気いっぱい!
- 4 一寸の隙も許さず。剣術・兵法タイ捨流の演武
- 5 10月9日は「家族の時間の日」で市内の小・中学校は休みに。子どもたちは町内会や学校ごとに祭りに参加した
- 6 球磨工高3年生74人が披露した同校名物「エッサッサ」は迫力!
- 7 10月8日夜には球磨神楽の全17番の演目が奉納された
- 8 半纏おろしの今年の火文字は「奏(かなで)」
- 9 第三中の伝統舞踊「梅娘」。お囃子(はやし)に合わせて優雅な舞を披露した
- 10 拝殿から8頭の獅子が勢いよく飛び出す
- 11 行列を終えて神社に戻ったみこしの宮入り

おくち祭

5年ぶりに順路拡大! 千五百人がまちなかを練り歩く

9日に行われたメインの神幸行列は、5年ぶりに中心市街地を通るコースに順路を拡大。みこしを担ぐ「わっしょい」や「そいやっ」という威勢のいい掛け声が響き渡り、獅子やみこし、稚児行列など27団体千五百人が九日町通りや紺屋町通りを練り歩きました。

3日の半纏おろしでは、「復興が進む中で記憶と希望が奏でる一人一人の活力で一層の繁栄を祈る」という意味を込め、「奏」という火文字が浮かび上がりました。

10月3～11日の9日間にわたり人吉球磨地域最大の祭りである「おくち祭」が開催されました。

宝・青井阿蘇神社で

